

NEWS RELEASE

公募展「第2回 松伯日本画展」作品公募の『審査結果』について 展覧会は、2018年2月9日(金)から3月11日(日)まで

近鉄グループの文化事業である松伯美術館では、1994年の開館以来、毎年、日本画を模索する作家達の育成と伸長を企図して「公募展」を開催し、広く作品の一般公募をしております。

本年度も公募展「第2回 松伯日本画展」を開催するにあたり、昨年9月から2018年1月8日(月)まで日本画作品の一般公募を行ったところ、全国から88点の応募があり、厳正な審査の結果、大賞1点・優秀賞4点を含む入賞作品25点を選定しました。入賞作品は、2018年2月9日(金)から3月11日(日)まで開催する公募展「第2回 松伯日本画展」で展覧いたします。

詳細は別紙のとおりです。



《第2回 松伯日本画展 大賞受賞作品》
杉木 智美「匂う」

別紙

<公募展「第2回 松柏日本画展」の審査結果について>

1. 応募者数 82名
2. 応募作品数 88点
3. 入賞作品数 25点(内、大賞1点・優秀賞4点)
 - 大賞 1点(賞金:100万円)
 - ・題名 「^{にお}匂う」 (130.3cm×193.9cm)
 - 受賞者 ^{すぎき ともみ}杉木 智美(33才) [愛知県岡崎市]
 - 優秀賞 4点(賞金:各50万円)
 - ・題名 「^{ゆきふ おと}雪降る音」 (130.3cm×193.9cm)
 - 受賞者 ^{いのうえ たかえ}井上 貴絵(52才) [長野県長野市]
 - ・題名 「^{ここう しずか}孤高の静」 (130.3cm×193.9cm)
 - 受賞者 ^{おおもり まさや}大森 正哉(45才) [京都市左京区]
 - ・題名 「^{ふなだま}船溜り」 (130.3cm×194.0cm)
 - 受賞者 ^{すすき ゆうと}鈴木 祐斗(24才) [東京都台東区]
 - ・題名 「^の野みち」 (162.0cm×130.3cm)
 - 受賞者 ^{ふじわら れいこ}藤原 玲子(54才) [京都市右京区]

※なお、その他の入賞者20名にも賞金(5万円)が授与されます。

《審査員》 上村淳之(松柏美術館館長、創画会理事長)、雲丹亀利彦(創画会会員)、北野治男(日展会員)、倉島重友(日本美術院同人)、松村公嗣(日本美術院理事)、水野 收(日展会員)

参考<公募展「第2回 松柏日本画展」の開催について>

1. 名称 公募展「第2回 松柏日本画展」
2. 会期 2018年2月9日(金)～3月11日(日)
 - ※月曜休館(但し、2月12日(月・祝)は開館し、翌13日(火)が休館。)
 - ※開館時間:午前10時～午後5時(入館は午後4時まで)
3. 会場 松柏美術館
〒631-0004 奈良市登美ヶ丘2丁目1番4号 TEL:0742-41-6666
4. 入館料 大人(高校生・大学生を含む):820円
小学生・中学生:410円
 - ※20名以上は団体割引1割引
 - ※障がい者手帳のご提示によりご本人と同伴者1名まで2割引
5. 展示作品 入賞作品25点
 - ※他に、上村松園「春の旅」、上村松篁「兔Ⅰ」、上村淳之「鵲」も展示(予定)
6. 主催 公益財団法人 松柏美術館、近鉄グループホールディングス株式会社、読売新聞社
7. 後援 奈良県、奈良市、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会、読売テレビ

※【美術講演会の開催】

2月10日(土)14時より展示室内にて、館長 上村淳之による講演会を行います。

演題は本展覧会にちなみ「日本画の問題点一今日一」とし、入館者の自由聴講となります。

≪松柏美術館の公募展について≫

松柏美術館の開館(1994年)以来、毎年開催しているもので、2014年度までは「松柏美術館 花鳥画展」として花鳥画をテーマに公募してきました。2015年度からは、ジャンルを限らず広く日本画を対象とした「松柏日本画展」と隔年で交互に開催することとしました。

昨年度(2016年度)は22回目となる「花鳥画展」を開催しました。本年度は2回目となる「日本画展」を開催します。

以上